

# 目黒寄生虫館月報

第 1 号

昭和 34 年 3 月

## 内 容

発刊のことば	2
バキスタンから衛生昆虫	2
土岐善麿博士「医心方」を寄贈	2
目黒区長君塚氏来館	2
森下薫教授の上京を機会に編集会議	2
解剖に附した動物と増加した標本数	3
マルセーユのハエ	4
生物学同好会について	4
短 信	4
新企画 月例 展示バラサイト	4
「ハエとその越冬」	4

## 発刊のことは

目黒寄生虫館がささやかなバラックで出発してから既に6年になります。私達同好の士は相集まりはげましあって今日に及びましたが、何といっても、その間に、数限りない多くの方々のご援助を得て、僅かながらも目標に向って前進することが出来たものと信じています。今回これらの方々に日々の活動を報告し、かかねて有益な助言をお願いしたいと思ひ、この目黒寄生虫館月報を発行いたします。(亀谷)

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

## パキスタンから衛生昆虫

かねて同地に出張中の平田寛氏は1月24日帰朝されたが、同氏は吾々の請を入れて多忙な業務の傍らカラチにて蠅を採集され又東パキスタンでは同地滞在中の横田医師の採集品の中から蠅1種、蚊2種、皮膚炎を起す蛾1種の分譲をうけ持参された。同時に Docca, Fenchganz 等における極めて非衛生的状態について種々興味ある話題を提供され、一同大いに得るところがあった。(亀谷)

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

## 土岐善麿博士「医心方」を寄贈

平安時代の永観2年(984年)に刊行された医書「医心方」には、白虫病として条虫の記載がある。本館に特別の好意をもって声援を送って下さる土岐博士は、愛蔵の同書7巻と「有林福田方」3巻とを寄贈された。

(亀谷)

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

## 目黒区長君塚氏来館

かねて科学教育に熱意を抱いていると言われる君塚区長は、1月24日来館され館内をつぶさに視察された。(佐野)

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

## 森下薫教授の

### 上京を機会に編集会議

1月28日には、理博、医博森下阪大教授(本館理事)の上京を迎え、予研小宮義孝医博(本館評議員)、慶大教授松林久吉医博、教育大草島教授、三協美術印刷菅生社長の参会を得て、かねて出版計画中の「日本における寄生虫学の研究」編集について協議した。(亀谷)

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

## 解剖に附した動物と

### 増加した標本数

本館の陳列標本は生物学的分類にしたがっているのですが、その配列のうえからいっても各科にわたって寄生虫を描える必要がある。したがって人畜の寄生虫のみでは甚だしく欠けるところが多く、これを補充するために昨年度は特に魚類、野鳥、野獣に重点を置いて解剖をこころみした。昭和33年4月~12月の集計が出来たので報告する。

#### 解剖した動物の種類と数量

哺乳類	65
鳥類	189
爬虫類	3
両棲類	2
魚類	250
軟体動物	12
昆虫	1
甲殻類	1

合計 523

増加した標本の種類と点数

吸虫類	123
条虫類	148
線虫類	226
鉤頭虫類	78
原虫類	2
衛生昆虫	149
顕微鏡標本	118
駆虫薬類	3
魚類	3
甲殻類	24
軟体動物	28
病理標本	26
背椎動物	1
その他	110
合計	1049

以上、標本数は2920点に達した。特に34年1月～3月は季節的に鳥獣の入手が多いので、標本も相当数増加の見込みである。(小林)

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

## マルセーユのハエ

わが館にマルセーユのハエがいる。

「わが航海百五十万哩」の著者村上人声船長は私の最も敬愛する快船長である。船長は世界を股にかけて船を走らせると同時に、ウの目タカの目で虫を探して目黒寄生虫館に貢献せんとしている大切な船長である。

或る日マルセーユでレストランに入った。食事を終えて室内を見廻すと、天井に一匹のハエがいる。船長はしめたと思ってボーイを呼んだ何に致しましょうと云うボーイの間に答えて、船長は天井のハエを指した。あれがほしい。ボーイは驚くと同時にからかうのもよい加減にせよと色をなした。まことに清潔をはこる食堂にハエとは何ごとぞ、と思ったのであろう。まあまあ怒るな、実はこれこれしかじかと語って聞かせたところ、ボーイは俄然相好をくずしてハ

エをとり、銀の盆にのせてうやうやしく奉ったのですよ。

——という曰くのあるハエである。

(亀谷)

## 生物学同好会について

昨年11月第1回を開催して以来、月1回生物学の講義をうけているが、1月は理学博士福井玉夫氏より分類学の第3講として動物学各論を聴講した。今回は特に我々に興味のある腔腸動物、櫛水母動物、扁形動物について極めて含蓄のある話を承ることができた。

ちなみに本会は目黒区立小中学校の教師を主体としているが、他同好の士の参加を歓迎している。会長は福井玉夫博士、副会長は亀谷館長幹事長は烏森小学校金子校務主任である。

(野々部)

## 短 信

1月27日—1昨年より調査中の「野鳥の食性」について、林野庁池田真次郎博士を訪問した。

(町田)

.....

## 新企画 月例 展示 パラサイト

目黒寄生虫館では3月より毎月季節的な話題をとりあげて、各種の標本と解説によるわかり易い特別展示を行います。近く、入口横の植込みに掲示板を新設して随時御案内いたしますが

### 3月は「ハエとその越冬」

を予定しています。何卒ご来館の上、ご批判戴ければ幸と存じます。(町田)

.....

表紙の絵は クロード・岡本君作